

南薩地域では、関係行政機関と連携・協働により、安心して安全に生活

消費者トラブルへの適切な対応、食品等の安心・安全の確保に取り組んでいます。

消費生活対策

県では、消費者トラブルの未然防止とその救済のために、相談窓口、市、警察等の関係機関と連携を図りながら、速やかな情報提供や消費者教育・啓発等に努めています。

特に、高齢者の被害を未然に防ぐため、老人クラブ等での市消費生活センター出前講座実施等による注意喚起、地域での見守り活動などの取組の充実に努めています。

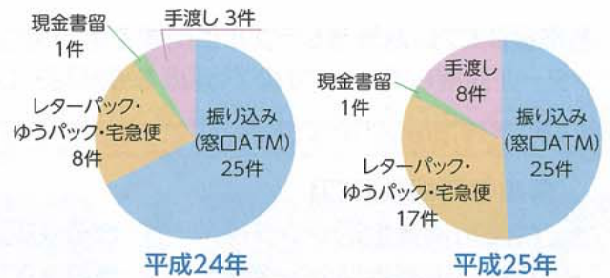
最近、「口座に振り込ませる詐欺」だけでなく、レターパックや宅配便で現金を送金させる「振り込ませない手口の詐欺」が急増しており、これらの啓発にも重点的に取り組んでいます。

1. 振り込め詐欺等の現状(県)

24年		25年		前年対比	
件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
35件	約2億1,410万円	45件	約3億840万円	+10件	+約9,430万円

資料：警察本部

2. 被害者の送金方法(県)



資料：警察本部

食品の安全確保

食品表示の不適合問題が後をたたない中で、消費者の食品表示や食の安心・安全に対する関心が高まってきています。

県では、食品の安全性を確保するため、各種法令に基づく効果的な監視指導の実施や表示制度の周知・適正化に取り組んでいます。

犯罪のない安心・安全な地域社会づくりに取り組んでいます。

県内における犯罪の認知件数は、近年減少傾向にあります。

地域では、防犯ボランティア団体数が増加するなど警察や自治体等と連携した取組が広がっています。

県では、今後もこれら団体等との協力体制を一層強固にし、地域や学校における、住民・子どもに対する防犯意識の啓発や防犯ボランティア団体のリーダーなどの育成を図り、さらに地域の防犯力を高めていく取組を行い、犯罪のない安心・安全な地域社会づくりに取り組んでいます。

学校での防犯教育

大切な子どもたちを犯罪被害から守るために「いかのおすし」で危険を回避することを教えています。



- い** 行かない
- の** の 乗らない
- お** おおごえ 大声でさげぶ
- す** すぐにげる
- し** し 知らせる

1. 刑法犯認知件数の推移

(単位：件)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
県	17,128	14,934	13,565	13,625	13,655	12,837	11,392	10,604	10,503
南薩地域	1,264	933	890	871	763	677	653	554	549

※犯罪認知件数：警察において発生を認知した事件の数

資料：県警本部

2. 防犯ボランティア団体の結成状況(県)



資料：県警本部

地域ボランティア団体等との できる地域づくりに取り組んでいます。

子どもと高齢者の交通事故防止に取り組んでいます。

南薩地域の交通事故の発生件数は、近年減少傾向にあります。高齢者の事故は、依然として多数発生しています。

このため、高齢者の事故防止対策として、夜間反射材の着用、早めのライト点灯の呼びかけなどを中心とした交通事故の抑止対策や道路交通環境の整備を行っています。

また、南薩地域においては、警察や自治会、ボランティア団体等との連携による交通安全活動が行われています。これらボランティアの方々は、通学時の子ども達の交通安全指導や交通安全キャンペーン等地域の安全・安心のために活躍されています。

交通安全キャンペーン



枕崎警察署出発式

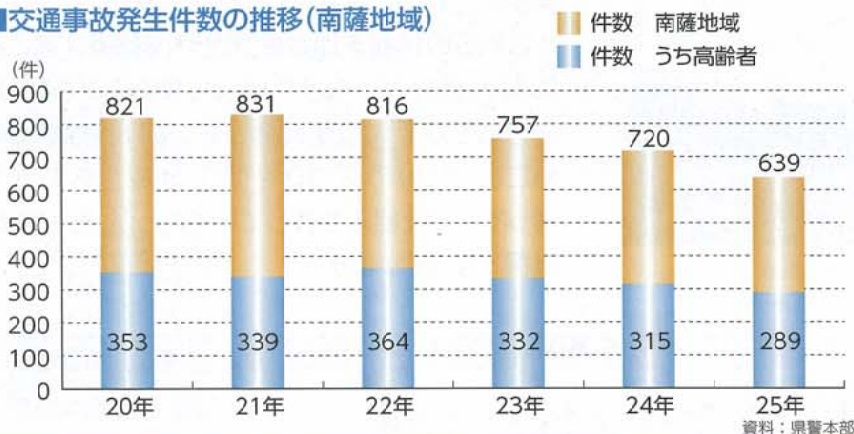
かつお節工場等で勤務している中国の方も参加して実施



指宿警察署キャンペーン

指宿警察署員による「シグナス戦隊スパレンジャー」

交通事故発生件数の推移(南薩地域)



災害に強い地域づくりに取り組んでいます。

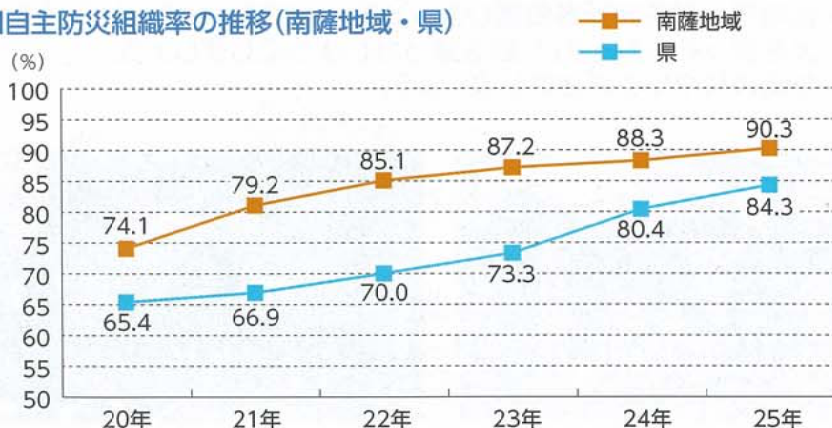
南薩地域は台風常襲地帯にあり、河川災害、土砂災害及び海岸侵食等の被害が発生しています。

県や市では、河川・海岸、砂防・急傾斜地等の施設整備を行うとともに、災害危険箇所などの情報について、ハザードマップの配布等により住民への周知徹底を図っています。

それぞれの地域においては、自治会等を中心とした自主防災組織が、平常時の火災の防止(見回り・啓発)や消火訓練、避難訓練の実施、非常時の周囲への声かけや、避難支援等の地域防災力を担っています。その組織率は年々高まっています。

また、消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。

自主防災組織率の推移(南薩地域・県)



防災訓練